

スクールトピックス



完成した「磐梯山デコレーションすし」



講師の指導を受けながら調理する児童

児童向け料理教室を開催

町では、米食の良さと農業の大切さに触れてもらうことを目的として、町内の小学生を対象とした「児童向け料理教室」を開催しています。この料理教室は、町農林課が食料自給率向上推進事業の一環として、各小学校で実施しています。

11月10日、猪苗代小学校5年2組の児童24人を対象とした料理教室が同校で開かれました。児童は「磐梯山デコレーションすし」、「キュウリとトマトのサラダ」、「ホウレンソウとシメジのスープ」の3品に挑戦。町食生活改善推進員の会員が講師となり、児童に調理方法などを丁寧に指導しました。

「磐梯山デコレーションすし」では、「磐梯山ジオカレー」で使用されているライスの型を使用し、ライスを磐梯山の形に盛り付けました。江口菜さんは「磐梯山デコレーションすしがとてもおいしかったです」と感想を話しました。

笑顔でこんにちは



大好きなママと一緒にハイ、ポーズ

おもちゃで遊んだ後には、きちんと後片付けができるようになった琉世くん。お兄ちゃんたちと毎日元気に過ごしています。

笠間 琉世 くん

平成27年8月生まれ
～八千代

厚志さん・美香さんご夫妻の三男

とても元気で活発な琉世くん。二人のお兄ちゃん（長男の厚志さんは猪苗代中の野球部、次男の泰世さんは千里スボ少のソフトボール部に所属）の影響もあり、取材に伺うとグロップを持って玄関で出迎えてくれました。パパとママが仕事で不在にしている日には、おじいちゃんとおばあちゃんと一緒に過ごしている琉世くん。「おじいちゃんがお風呂に入ろうとすると、琉世も『ちやっぽ！』と言いながら、服を脱ぐんです」とママの美香さんは笑顔で話します。パパの厚志さんは「大きくなったら、家族でキャッチボールがしたいですね」と琉世くんの成長を楽しみにしています。美香さんは「男兄弟の末っ子ですが、おもいやりのある、優しい人になってほしいです」と話しました。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。
☎(62)2111

スクールトピックス



着なくなった服の回収に協力する保護者



服の発送作業を行う児童ら

難民キャンプに服を届けよう

吾妻小学校では、ユニクロが実施している「届けよう、服のチカラプロジェクト」に取り組んでいます。

このプロジェクトは、子どもたちが主体となって、自分たちが着なくなった子ども服を回収して、難民生活などを送る子どもたちに届ける活動です。ユニクロではこの活動を通じて、子どもたちに国際問題や環境問題などに関心を持ってもらうとともに、自分にもできる社会貢献活動があるということを知ることにつなげていくという一環として実施しています。

吾妻小学校では、6月にユニクロ社員による出張授業を行い、難民として生活している子どもたちの様子や服が持つ力などについて学習。その後、JRC委員会が中心となって着なくなった服の回収を呼びかけました。11月22日、児童たちは各家庭から集められた段ボール9箱分の子ども服の発送作業を行いました。

地域おこし協力隊紹介

私たちが地域を元気に！
地域おこし協力隊

宮本 沙綾香 さん
Sayaka Miyamoto

主な活動内容：有害鳥獣対策



今年の4月から地域おこし協力隊の一員に加わりました宮本沙綾香です。長野県長野市出身の23歳です。子ども頃から野生動物に関わる仕事に興味があり、自然環境系の専門学校に進みました。その際に、猪苗代町で開かれたサルの頭数調査に参加したことが地域おこし協力隊になるきっかけでした。サルやイノシシによる農作物への被害を軽減するため、電気柵の設置や花火による追い払い、サルの群れの頭数調査などを主な業務として活動しています。

仕事を通じて知り合った人々たちから野菜などを分けていただくことがあるのですが、とても美味しくてびっくりしています。そして、そんな町民の皆さんの優しさを感じている毎日です。残念ながら、有害鳥獣による農作物への被害は後を絶ちません。地域の皆さんと一緒に、被害を最小限に食い止められるよう努力したいと思っています。少し人見知りなところもある私ですが、見かけたら声を掛けてください。